

家庭菜園

Q & A
問題解決!



南部営農センター
園芸課
検校 哲也

Q1 みかんの葉が黒くすすけてしまいました。きれいにする方法はありますか？

A1 すず病(写真1)の原因は、糸状菌、つまりカビです。



カイガラムシ(写真2)などの害虫が出した排泄物(ふん)が原因です。枝や葉などに付いた排泄物にカビが生えることで発症するのが一般的です。

害虫の排泄物は、病原菌が好む栄養源がたくさん含まれています。害虫防除が手薄になり害虫が多発すると、すず病も発生



写真2

しやすくなるので注意しましょう。なお、すず病の病原菌である糸状菌はあくまでも表面だけで生息し、中まで侵入することはありません。そのため、防除の基本は、害虫の防除となります。

発病の原因となる害虫の種類には、主に六〜十月にかけて発生するコナジラミ、雨の多い四〜六月と九〜十月に多発するアブラムシが挙げられます。なお、カイガラムシは年中発生するため、年間を通して害があると考えて

対処しましょう。

カイガラムシは、その名のとおり、殻や蟻(かぶ)で外敵をガードしています。害虫の中でも農薬が効きにくいので、こすり落としたり、葉や枝ごと取り除いたりして駆除します。労力を要しますので、できるだけ発生前の段階で防除しましょう。

カイガラムシ防除は、冬季(ミカンだと、十一月〜一月が適期)に三〇〜四〇倍に希釈したマシン油乳剤(商品名: トモノール、(写真3)の散布をおすすめします。気門(呼吸口)をふさいで窒息させることで殺虫します。

新緑のころから越冬した幼虫が動き始めます。見つけしだい、アプロード水和剤、コルト顆粒水和剤、モスピラン顆粒水溶性などの殺虫剤を散布します。



写真3

Q2 観葉植物に白いホコリのようなものが付いています。为什么呢？

A2 白い粉のようなものが葉などに付着していたら、それはうどんこ病の可能性が高

いです(写真4)。名前のとおり、うどん粉を振りまいたような斑点が細かく付きます。原因はカビの菌です。



写真4

初期段階だと、重曹や酢を溶かした水を散布するとカビの増殖を抑えることができ、自然治癒も可能です。思い切って、病変した葉を切り取るのも効果的です。

観葉植物に白い綿のようなものが付着していることもあります(写真5)。一見ホコリ?と勘違いしてしまいがちですが、実はこれは害虫です。

名前は、コナカイガラムシ。放っておくと、すず病という二次被害を招きます。早めに対処しましょう。まずは、一つひとつピンセットや割り箸で取ったり、歯ブラシを使ってこすり取ります。たくさん

付いてしまったら、殺虫剤を使うことになりません。幼虫のうちに使うと効果的です。マシン油乳剤は呼吸を止めるのでおすすめです。これは成虫でも効果を発揮します。

病気や虫は、風通しが悪いと発生しやすいので、すっきりと剪定して、風通しの良い場所に置いてあげることが大切です。



写真5

オンライン
農業塾は
こちら
動画はコチラ

管内の
病害虫
情報は
こちら

家庭菜園
情報は
こちら